

バイカモ

梅の花に似た白い美しい花を水上に咲かせることから、梅花藻（バイカモ）という名前がつけました。冷たい水が流れる河川や水路で、茎や葉は水中に沈んだ状態で生育します。

本州と北海道に分布しますが、本州の暖かなところでは、冷たい水が湧き出る湧水地に生育が限られています。

長い茎に、ふさふさとした糸状の葉をたくさんつけます。根を水底にしっかりと張り、流れが速くても生育することができます。

富士市での現状

湧水が流れる河川や水路に生育しています。湧水は一年中水温が13~15℃くらいで、季節による変化がありません。こんこんと湧水が湧き出ている水たまりや、湧水が流れる水路や小川は、水がよく澄んでいます。バイカモはこのような湧水が豊富にあるところだけに生育しています。

富士市では水の汚れのためにバイカモが全滅した時期がありました。その後、富士宮市のバイカモをかがみ石公園の湧水地に移植したものが繁殖し、今では湧水の流れる水路や川にたくさん見られるようになりました。旧富士川町域では、確認されていません。



(上) バイカモの生えている様子

(右下) バイカモの花

バイカモを確認したメッシュ

